

基礎工事の杭打ち作業が進行中！

現在、新市民体育館の建設現場では、建物を支える重要な作業である杭打ち工事が進められています。これは、建物を安全かつ強固に支えるために122本の杭を地中に最大29m打ち込む作業。この工事で地盤の深い層まで強固な杭を打ち込み、その杭を通じて建物の重さをしっかりと支えることで、災害に強く地震などの外的要因にも耐えられる安定した建物の基盤が作られます。

写真は、現在の工事現場をドローンで空撮したものです。打ち込まれた杭頭が敷地左側に精密に並んでいる様子が確認できます。このように、建設工事は安全性を第一に、着実に進んでいます。市民が安心して利用できる施設となるよう、今後も丁寧な施工を進めていきます。



問＝建設課 Tel 23-0311

覚えてみよう！使ってみよう！

手話で話そう！

問＝福祉課 Tel 23-0111

日常会話で使える手話を毎月紹介します。手話を使うろう者の方とコミュニケーションをとってみませんか？

春

モデル：須木中3年 綿引 来空 さん

両手のひらを上に向けて、お腹のあたりから繰り返し優しくあおるようにします



おはよう・朝

モデル：細野小5年 鶴野 叶大 さん

耳の横に拳を置き、あごのところまで拳をさげます



見逃していませんか？ 子どものこころのSOSサイン



☑ 子どものSOSのサイン

- ☐ なかなか寝付けない、起きられない
逆に寝過ぎる
- ☐ 食事の量や体重が急に増えたり
減ったりする
- ☐ 元気がない、顔色が悪い、頭痛や
めまいなどを訴える
- ☐ 「外に出たがらない」、「しゃべらな
くなった」、「反応がない」など、
いつもと変わった様子がみられる

小林市版
こころの電話帳



こころもメンテしよう
(厚労省ホームページ)



子どもの気持ちを
受け止めてあげよう
子どもが子どもだと、つい
相手が子どもだと、つい

誰かに話してみませんか？
「ひとりで悩まないで！
話を聞く方もこころが疲
れてしまうことがあります。
周囲の方や相談先に「ぐ
ち」を話すことも大事です。

子どもには「こころ」が
疲れているときに出してい
るサインがあるようです。
「いつもと違うな？」、「ど
うしたのかな？」と感じた
ときは、まずは話を聞いて
みてください。

ひとりで悩まないで！

話を聞く方もこころが疲
れてしまうことがあります。
周囲の方や相談先に「ぐ
ち」を話すことも大事です。

子どもの様子が
いつもと違うと感じたら
慌ただしい年末年始、楽
しいこともありますが、大
人も子どももちよつと疲れ
たりします。

「それはダメ」や「違うん
じゃない」と自分の考えを
言ってしまうがちです。小
言や説教はいったん横に置
いて、子どもの気持ちに共
感し、受け止めてください。
まずは、「一緒に考えよう」
という気持ちで寄り添って
みましょう。

元気の知恵袋

●問＝こども課 Tel 23-4319